

福岡を、誰もが利用しやすい交通都市へ——。

ここに紹介する施設は全ての駅やターミナルに設置されているものではありませんが、各交通事業者は、「誰でも快適に利用できる交通機関」を目指して、バリアフリー施設の整備を随時進めています。



■エレベーター

通常のエレベーターの他、スルー型(同一方向へ入出が可能)があります。車いすの方が同乗の場合は、必ず優先してください。

(写真：JR鹿児島本線 吉塚駅)



■エスカレータ

施設面積の都合で登り専用のみ設置されている場合があります。危険ですので、エスカレータ上では走ったり歩いたりしないでください。

(写真：JR鹿児島本線 吉塚駅)



■スロープ

車いすの方が移動しやすいように段差をなくした通路です。車いすのスピードが出すぎないように、角度や距離を考慮しています。

(写真：西鉄天神大牟田線 薬院駅)



■誘導案内用設備

視覚障害者誘導ブロックは、目が不自由な方を誘導するためのものです。ブロックを認識しやすいよう、周囲の床材も配慮されています。

(写真：地下鉄七隈線 天神南駅)



■券売機

目が不自由な方のための点字表示、車いすの方が使いやすいようにボタンや金銭投入口の高さを配慮するなどの工夫がなされています。

(写真：地下鉄七隈線 天神南駅)



■トイレ/ベビーチェア

乳児を連れた方でも安心して利用できるように、ベビーチェアを設置しています。子どもから目を離さずに、トイレが使用できます。

(写真：地下鉄七隈線 天神南駅)



■多目的トイレ

高齢者、障がい者などの使用に配慮した多機能トイレです。車いすの方も円滑に利用できるように設計されています。

また、右利き、左利きの方への対応をはじめ、オストメイト(人工肛門、人工膀胱造設者)の方のための水洗機、乳児を連れた方のためのおむつ交換シートなども設置されています。

スペースの都合などで「簡易型」を設置している場合もあります。

(写真：福岡空港 国内線第2ターミナル)

■音声・触知案内板



施設を点字で説明した、音声付き案内板。

(写真：福岡空港 国内線第2ターミナル)